

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

男女共同参画室

SANKAKU Letter No.13

NISSAN
×
東京都市大学

第一回目は、日産先進技術開発センターを訪問。PPT説明、顔合わせの後、テーマ発表。テーマの主旨説明を受け、企業を見学し、それぞれイメージを膨らませました。
第二回目は、グループディスカッションで検討を重ね、テーマを決定。
第三回目は、都市大に日産の社員の方々を迎えての仮プレゼン。更なるブラッシュアップのため、真剣に取り組みました。
最終回は、プレゼン本番。様々な視点から提案することの大切さを学びました。

工学女子と未来の車プロジェクト
「未来の車を考えよう」
日経B.P『ダイバーシティ&イノベーションフォーラム』の女性が活躍する社会の実現と教育&組織変革の一環として、課題解決型プログラムPBLに参加し、8名の女子学生が日産自動車株式会社からの課題に取り組みました。



課題：2020年に販売する電気自動車を提案する！

チーム すかいらいん (<'・ω・') //

『乗るたびに、美しくなる車～あの頃の君に戻ってほしい～おかえり、ぼくのシンデレラ』



ターゲット：40代女性。乗れば載るほどより美しく、健康になる車を提案。
ハンドルに美顔器を設置、体脂肪や血圧などを測定記録できる機能を搭載、シートにマッサージ機能をつける等、自動車購入の意思決定に大きく関与するといわれる、大人の女性を喜ばせる車を提案した。

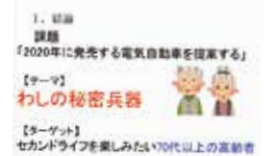


チーム GS ~ Good Salt ~

『わしの秘密兵器』



ターゲット：70代以上の高齢者。高齢者が安心かつ安全に走行できる車を提案。
生体認証、生体計測機能により、走行中、人体に異常が起きた場合、自動で車を路肩に止める等の機能や、測定データを家族にメールで通知する機能等、生体工学の技術を取り入れた車を提案した。



最後に
記念撮影☆



オリエンテーションからプレゼンまでの約20日間、短い期間で積極的に課題に取り組みました。それぞれが大きく成長した、中身の濃い、実りある時間となりました。



今回の取り組みは、11月発売予定の日経WOMAN別冊「進学バイブル」に掲載されています！参画室に置いてありますので、是非ご覧ください！

活動報告 1: 第 85 回東京都市大学世田谷祭に参加しました

2014年11月1日(土)、2日(日)の2日間に渡り開催された第85回東京都市大学世田谷祭に「リケジョ応援コーナー」と「女子学生による相談コーナー」2つの企画で参加しました。

応援コーナーでは、日産自動車とのPBLの紹介や、世田谷キャンパス12学科の女子学生のキャンパスライフを紹介するパネル展示、参考図書の展示を行い、相談コーナーでは、女子高生や保護者の方、男子高生など、2日間で14組の皆さんにご来場いただきました。熱心に質問する姿がとても印象的でした！



1F 学生による相談コーナー

● 相談者数(両日合計)

	高3 ... 10名 (内男子2名)
	高2 ... 3名
	専門生 ... 1名
	合計 ... 14名



3F リケジョ応援コーナー



活動報告 2: 尾山台フェスティバルに出店しました

10月18日(土)、19日(日)の2日間、尾山台商店街(ハッピーロード)で行われた「尾山台フェスティバル」に参加し、出張科学体験教室を行いました。



保護者の方から、毎年、都市大の出店を楽しみにしているとの嬉しいお声もいただきました！

本年度は「わくわくキャンダル」と題し、油を利用したキャンドル作りを体験してもらいました。両日も整理券が足りなくなるほどの大盛況で、参加した子供たちは学生ボランティアたちと楽しみながら思い思いのキャンドル作りを体験しました。



活動報告 3: 女性研究者研究活動支援事業シンポジウム2014に参加しました

11月26日(水)、文部科学省主催「女性研究者研究活動支援事業シンポジウム2014ー女性研究者支援とダイバーシティ・マネジメント」に参加しました。平成18年度から現在まで全国89の大学・機関が参加する本事業。当日は、活動要旨のポスター展示と、6つの分科会に分かれて①活動総括②今後の課題と有効取り組み事例の他機関への普及③ダイバーシティマネジメント・経営戦略の一つとしての女性研究者支援の推進等について、活発な意見交換がなされました。また、日本IBM社会長による基調講演では、女性支援にとどまらない、障害者やトランスジェンダーまで広がる最先端のダイバーシティへの取り組みが紹介されました。

